

1 研究の概要

(1) 研究テーマ

〔共通事項〕を支えとした児童生徒の見方や考え方を深める指導方法の研究
—形や色(色彩)を意識した言語活動を取り入れた指導を通して—

(2) テーマ設定の理由

●学習指導要領における小学校図画工作科・中学校美術科の目標と〔共通事項〕の位置付け

学習指導要領では、小学校図画工作科・中学校美術科の共通の目標として、豊かな情操を養うことが求められており、そのために中央教育審議会の答申(平成20年1月)では、造形的な創造活動の基礎的な能力を育てることなどを重視することが示されています。

基礎的な能力とは、小学校図画工作科・中学校美術科ともに表現の能力と鑑賞の能力です。表現及び鑑賞の各活動において、小学校・中学校共に必要となる資質や能力を〔共通事項〕として示しています。

●小学校学習指導要領実施状況調査、特定の課題に関する調査の結果から見える児童生徒の実態

表現及び鑑賞の能力について平成25年に実施された小学校学習指導要領実施状況調査では、作品から得た自分の印象や情景、全体的な感じなどを形や色、奥行きなどの複数の造形的な特徴を根拠に説明することや、作品を鑑賞することの問題において、〔共通事項〕の視点で作品を捉えることに課題があるとしています。この改善策として、より効果的な言語活動を取り入れることや、〔共通事項〕の指導の充実が提案されています。中学校美術科では、平成21年度に実施された特定の課題に関する調査の結果から、形の特徴を生かす、色の感情効果を生かす、動きを表すという視点から発想や構想することにおいて、〔共通事項〕の視点を意識した表現活動に課題があるとしています。

(3) 研究のねらい

そこで、本研究では、〔共通事項〕に含まれる造形的な特徴のうち、小学校図画工作科から中学校美術科までを見通し、支えとなる造形的な特徴として形や色(色彩)に焦点化することにしました。具体的には、児童生徒が形や色(色彩)を意識して作品を捉えたり、発想や構想に生かしたりすることができるように、創造活動の中に、形や色(色彩)を視点にした話合いや表現をさせる言語活動を取り入れます。このようにして、児童生徒が形や色(色彩)を視点にした見方や考え方を広げ、見た感じたりしたことを根拠にして自分の考えを表現する中で、見方や考え方を深めることができる指導方法を探りたいと考え、本テーマを設定しました。

(4) 研究の方法

ア 〔共通事項〕を支えとした児童生徒の見方や考え方を深める指導方法についての理論研究を行います。

イ 学習過程の中に、学習課題に応じた言語活動を取り入れた授業実践及びその検証を行います。